

ひだまり



雛人形に願いを：

ひだまり Vol. 56
医療法人社団みつわ会
山形県鶴岡市茅原町26番23号
〈事務局〉Tel.0235 - 25 - 8255

- ・老人保健施設のぞみの園
- ・サテライト老健のぞみ
- ・サテライト老健ちわら
- ・訪問リハビリテーションのぞみ
- ・訪問リハビリテーションちわら
- ・グループホームひだまりの家
- ・のぞみの園訪問介護サービス
- ・茅原クリニック
- ・ケアプランセンターひだまり
- ・有料老人ホームサニーハウス茅原
- ・有料老人ホームみつわ荘
- ・有料老人ホーム共栄荘
- ・有料老人ホームあじさいの家
- ・ライフサポートハウス千寿

発行日 平成28年4月1日
発行人 施設長 佐藤 久美

昨年の十二月、陽光町の富樫様より八段のとても豪華な雛飾りをご寄贈いただきました。この雛飾りには、三人官女や五人囃子、右大臣・左大臣などの他に学問の神様”菅原道真”、美の大家”小野町”、才能の宝庫”柿本人麻呂”が三歌人として、仕立てられています。生まれてきたわが子が、その三歌人にあやかり「優しく、賢く、美しい、立派な女性に成長して」との願いを込めて造られ、江戸時代のおひな様には飾られています。うです。これから毎年、大切に飾らせていただきます。大切に飾りますので、どうぞご覧になってください。



2016

新人職員研修会

当法人では、入社前の新卒採用者5名を対象に3月14日（月）～25日（金）の2週間、「新人研修会」を行いました。

座学では、「法人の歴史や理念」を始め、「介護職員の心得」や「高齢者の身体機能の特徴」などについて学び、「施設見学」や「高齢者の一般状態の把握」としてバイタルチェックの実技なども行いました。

その後は、法人として初めての取組み（ジョブ・ローテーション）として、自分が働く施設・職種以外の仕事内容や特徴について経験してもらうために数日間に渡り、老人保健施設のぞみの園、茅原クリニック、グループホームひだまりの家、ケアプランセンターひだまりでの実習に入りました。

のぞみの園入所・通所では、見学をしながら、リハビリやレクリエーションなどを。事務室では、電話対応の練習や文書受付を、またその日の仕事の感想や反省を法人のブログにアップしました。支援相談員では入所相談の同席や会議への参加、管理栄養士からは、食事の形態の違いやNST（職種の壁を越え、栄養サポートを実施する多職種のチーム）による経口摂取に向けたアプローチの仕方や補助食品の試食など様々な体験ができたと思います。その他、茅原クリニックでは、待合室の掃除やカルテファイルの作成など、ケアプランセンターひだまりでは、ご利用者のお家での会議に参加したりと様々な部署・職種の仕事に触れ貴重な体験となったのではないのでしょうか。



研修初日の座学の様子



ジョブ・ローテーション

人材育成を目的とした定期的で計画的な異動のこと。業務上の必要性から行われる配置転換とは異なる。長期的な育成を前提に幅広い仕事を経験させることがねらい。また、同じ職務に長年携わることに伴うマンネリや弊害を防ぐ効果もある。

みつわ会では、配置転換することのない各専門職の仕事を経験することにより、多職種連携の重要性和自身の仕事の可能性を高めることを期待した取り組みである。



皆さん苦戦していた電話対応
「のぞみの園高橋です♪」



茅原クリニックでのカルテファイルづくり



通所ご利用者とおはぎづくり
自然な笑顔、いいですね♡



ご利用者と一緒に貼り絵。
上手にできました♡

慣れないバイタルチェック。
声を掛け一生懸命行っていました。

通所でラーメンづくり。
なかなか様になってますよ！！

【初の試み！新規採用職員ジョブローテーション実施！】

平成28年度がスタートし、今年も新規採用職員がみつわ会の新たな仲間に加わりました！

4月1日から新規採用の皆さんは緊張した面持ちでしたが、どこか和気あいあいとしていて非常に良い雰囲気を感じました。

さて、今年度の新規採用職員の受入に伴い、医療法人社団みつわ会として初めての試みを行いました。

それは、新卒者を対象とした入職前の事前研修内で行った「ジョブ・ローテーション」です！

自分が配属される部署だけでなく、他の部署や職種の仕事を体験するという企画です。

そこで、自分がこれから働く部署や職種以外のことを事前に知り、これからの仕事の視野を広げることを目的としました。

今回の「ジョブ・ローテーション」において、事務室の仕事も体験しています。

そこで、新規採用職員の紹介も兼ねて、参加者の声をお届けします！

【前田 明日香さん(事務職)】

今日は支援相談員、管理栄養士の仕事について、お話していただき、実際の流れの雰囲気を見学しました。どちらもほかの部署との連携がとても重要で、ご利用者一人ひとりにきめ細かく対応しています。ジョブ・ローテーション初日で、初めて体験することも多いですが、様々な経験を通して、入職後の事務の仕事に活かしていきたいと思います。



【高橋 慎さん(介護職)】

事務室の仕事内容を体験することができました。業務内容に触れていく中で、私の中で改善すべき事も見えてきました。私の場合は、電話対応の際に声のトーンを上げるべきだと感じました。管理栄養士の仕事も食事形態など覚えることが多かったですが、配属先でも覚えておかなければならないこともあり、勉強になりました。



【須田 莉帆さん(介護職)】

事務の仕事を経験し、私は今まで事務はデスクワークが中心だと思っていました。しかし、今日の体験で考えが変わり、デスクワークもしつつ現場に行き、一つのことだけではなく全体のことを見なければならぬ仕事だと考えました。

また、電話の受け答え一つでも気を遣う仕事で、大変ではありますが、やりがいを十分に感じられる仕事でもあると思いました。この体験を通し、もっと積極的に質問ができればさらに良い研修になったと思います。この貴重な体験を春から配属される部署でも活かしていこうと思います。



【亀井 彩瑚さん(介護職)】

研修中ずっと不安ばかりで頭の中が真っ白になっていました。始めて食事の介助を体験してみて、もっと声掛けをして行動に出せたらもう少し上手に介助できたと思います。事務の体験では、自分が思っていたより大変な仕事で、介護職だけでなく事務職もご利用者の方を支える重要な仕事だと知ることができました。4月からは研修の反省を行動に出せるようにしたいです。



【太田 康平さん(介護職)】

介護について全く知識も経験ありませんでした。それでも、研修では各施設職員の方々の俊敏な作業を見学させてもらい、介護の仕事が利用者様の命を預かっていることを改めて感じ、意識して仕事に励みます。



新人さん
研修
お疲れ様でした

ウェディングドレスで ご利用者を笑顔に♡



ウェディングドレスで歌いながら、
ご利用者を迎える温子さん♪



絵画の様な美しさですね。
通所ご利用の水野様
ありがとうございました。

通所部門の佐藤温子さんの提案で法人でウェディングドレスを3着購入しました。

温子さんは、とにかくご利用者の皆さんから笑顔でいてほしい、みつわ会のデイにせっかく来て頂けるのだから楽しんでもらいたいという思いからウェディングドレスの購入に繋がりました。

まずは、提案者の温子さんがサプライズでドレスを着て歌いながら、ご利用者のお出迎えをしました。ご利用者も「今日、何の日だった？どしたな？」と反応はますますでした。

また、本体（のぞみの園）通所では、お誕生日を迎えたご利用者様にドレスを着て頂き記念写真をプレゼントしております。ドレスを着たご利用者は、少し恥じらいながらも「ドレス着たことないの。」と喜ばれておりました。

これからもウェディングドレスを通し、皆さんが明るく、ハッピーな気持ちになって頂ければと思います。



川上様、お誕生日おめでとうございます。
ゆかいな職員たちとハイチーズ♪